

この町と、これから

門川中学校 二年 水永 央華

「地域と、自分自身」。あなたは、その言葉に何を考えるでしょうか。

私は、門川町で生まれ、そして今までずっとこの町で日々を過ごしてきました。まだまだ短い人生ですが、それでも、溢れるほどのたくさんの思い出があります。楽しい思い出、苦い思い出、どれも昨日の事のように思い出せるほど心に残っています。そして、その思い出の多くとともに、この町、門川町が私のそばにあるのでした。

私が、ふるさと「門川町」について意識を向けるようになったきっかけは、昨年度授業の一環で行われた「地域教育」でした。この地域教育では、自ら調べ学習を行ったり、町民の方からお話を伺ったりといった取り組みを行いました。率直に言うと、それまでは町について関心が薄く、真剣に考えたこともあまりありませんでした。ですが、その際の講義中に投げかけられた一言に私ははっとさせられました。

「この町はみなさんにとって大事なふるさとであり、拠り所でもあります。」

ふとおっしゃった些細な一言でしたが、私はその言葉が強く印象に残っています。

町内の学生のほとんどは、門川町に住んでいます。私と同じく生まれも育ちもこの町、という人も多いのではないでしょう

か。つまり、門川町は、私たちのふるさと。地域教育以前の私もそうでしたが、町のことや、良さに積極的に目を向け、掘り出そうとしている人が少ないような気がします。そして、これは学生だけに限ったことではありません。折角この町に住んで日々を過ごしているのに、関心を持たずにいるなんてもったいない、町民の私達がまず「門川町」を知っていかないと。次第にそう思うようになっていきました。それから、日々の中で、この町のよさとは何かを意識するようになりました。

今の私が考える「門川町」の魅力は、ズバリ『人』です。思い返してみると今まで、町民の方も含め、たくさんの人に助けられてきました。今でも、登下校中、温かく返してくれる挨拶は心の支えになっています。人と人との距離が近い、というのは自慢できる魅力のひとつだと思います。次に、自然や景観。今までは、植物が多く、山が多いところはあまり魅力的に思えませんでした。ですが、祖父母たちから、自然の恵みのありがたさといつて話を聞いてからは、緑が豊かで暮らしのすぐそばにあることは、とても素敵なことだと感じられるようになりました。更に、伝統文化。私は、だんじり祭りや小学校の運動会で踊った白太鼓踊りが真っ先に頭に浮かびます。調べてみると、他にも知らなかった文化がたくさんありました。自分の住む町の、かけがえのない唯一無二の伝統だと思うと、なんだか誇らしく、「かっこいい。」と思えます。

生まれた時から住み、慣れ親しんだ門川町。この町についてはある程度何でも知っていると思っていましたが、改めて考え

たり調べてみたりすると、まだまだ知らないことがあるということに気付かされました。知らないことがたくさんあるのならば、まだ見ぬ魅力ともきつと出会える。だからもつとこの町について知りたい。地域教育は、私にそんな思いや課題を芽生えさせてくれました。

そして、そのあとに私が考えたのは、私自身はこの町に何ができるのか、ということでした。といっても、今の私に何か大きなことができるわけではありません。だからこそ、自分に合った門川町との関わりを探したいと思いました。まずは、積極的に門川町の特色とその魅力を探して、町民自らこの町を知っていくことが一番大事です。私達が町の良さを知ること初めて、町をアップデートさせることも成し得るのではないでしょうか。また次に、小さな行動でもいいから起こしていく、ということです。たとえるなら、道にゴミが落ちていたら拾う。そのくらい小さいことでも、綺麗で衛生的な景観を保つためには欠かせないことです。そんな行動ひとつひとつで、必ず何かが変わると思います。そして最後に、「ふるさと」とともに生きているのだという思いを忘れないように過ごすことです。先ほど述べたように、門川町は私達のふるさとです。毎日平和に暮らしている、おいしいご飯を食べられる。それはとてもありがたいことで、住んでいるこの町のおかげでもあります。大事にしてほしいのは、この「ふるさと」門川町についての意識と、感謝を忘れずに、過ごしてほしいということでした。それは、大きくなって、たとえこの町から出ていくことになったとしてもかわらないものだ、私は思いました。

た。

さて、あなたはどうですか？地域と、自分自身の未来。一見そんなに関係がなさそうですが、実はたくさん重なる場所があります。これからどう地域と向き合って、関わっていくかはあなた次第です。私も、輝く、自分の未来を見据えながら、着実に前へ歩いていきます。

この町とともに、これからも。